



～地域社会に貢献～
一般社団法人「こうけん舎」



▲「こうけん舎」の代表理事 西塚和彦さん

一般社団法人「こうけん舎」は、平成29年7月に日野駅観光案内・交流施設「なないろ」のカフェコーナーを中心とした管理運営を目的として設立されました。

今回、「こうけん舎」の代表理事、「日野駅利用促進活性化懇話会」の会長を務められ、普段は西塚自転車店を営んでいる西塚和彦さんにお話を聞きました。



「こうけん舎」はチャレンジする人の「橋渡し役」

『「にぎわいのあるまち」とはなんやと思っ?』
西塚さんは、日野駅をにぎわいのある場所にしたいという思いを以前から持た

れていました。
平成28年、日野駅舎が改築再生されることになり、それに合わせて「コミュニティースペース」が設置されました。

『「にぎわった町となるようにするにはどうやってい

くか。日野駅の一日の乗客数は約500人。日野駅で起業して商売する人は、まあおらんやろな。そこで将来的に起業を考えている人や、ネットワークを広げたい人、自分の自己表現の場を持ちたいと考えている人たちにチャレンジショップとして活用してもらおうのも面白いのではないか。そこで、日野に移住する人や、日野で店を始めたり、そういった流れができれば若い人も日野にきて、もっと町がにぎわうのではないか。』

という思いから「なないろ」では、日替わり店主システムを取り入れることにしました。現在「なないろ」では毎日違う店主さんがサービスやランチの提供をしています。こうけん舎は、チャレンジする人の「橋渡し役」として、「なないろ」の日替わり店主の出店受付や日程調整、販売促進のサポートをしています。また、その他に施設の清掃・維持管理などの活動をしています。

一般社団法人「こうけん

舎」の設立のきっかけについてたずねると、
『実際に「なないろ」の運営をどうするか。「さびれた駅」にならないよう続けていかなければ意味がない。日野駅をまちの「たから」として残すために、検討を進める中で、何人かが集まって、観光協会や観光ボランティアの人にも協力してもらって、自分たちで運営をしていくしかないとなった。』

このような駅舎のコミュニティースペースを維持・発展させていきたいという思いを持った地元住民の方々により、一般社団法人「こうけん舎」は結成されました。

町を訪れた人には感動を、日々使う人には快適を、周辺住民には利便性を

今後の活動についてたずねると、
『「こうけん舎」主催の事業を今後もっとしていきたい。「町を訪れた人には感動を、日々使う人には快適

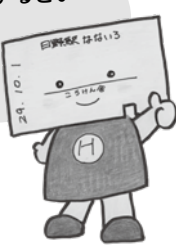
を、周辺住民には利便性を」を目的として、駅としてだけでなく、色々な機能を果たせる空間になるよう付加価値をつけていきたい』と話されました。

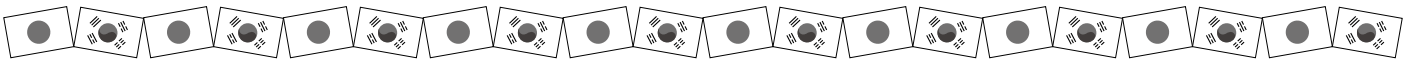
「活気のあるまち」とはなんや

西塚さんは活気のあるまちについて、「社会的結節点の多いまちやとぼくは思う。」と話されました。社会的結節点とは、「不特定多数の人が寄り集まる」という意味です。具体的には、駅、公民館、図書館、商店街などが挙げられます。

日野駅が様々な人でにぎわう社会的結節点となるよう、日々貢献いただいています。

「こうけん舎」の名前には、硬い券（近江鉄道の切符）と地域社会に貢献するという意味がこめられているよ





韓国の重要無形文化財 恩山別神祭へ交流使節団5名を派遣

4月7日から10日までの4日間、日野町と姉妹都市提携を結ぶ韓国扶余郡恩山面を、日野町国際親善協会の使節団が訪問し、韓国の重要無形文化財に指定されている恩山別神祭に参列しました。

恩山別神祭に参列 本祭行事で献花と礼拝

恩山面は百済の国の旧都「扶余」と白馬江を挟んで向かい合う古代の面影を残す山あいの里です。

日野町では2年に一度、恩山別神祭の大祭に合わせて交流使節団を派遣しています。恩山別神祭は、日野町小野の鬼室神社に祀られている鬼室集斯の父である鬼室福信を祀る恩山別神堂のお祭りで、6日間に渡り執り行なわれます。



拝礼する植田団長



民族衣装を身に着け祈りを捧げる恩山面の役員さん

本祭は、4月8日の午後9時から始まりました。たくさん見物客が見守る中、鬼室福信將軍像を祀る恩山別神堂の前で、色鮮やかな民族衣装を着た一団が、ラッパや鐘・太鼓を打ち鳴らし、お祭り気分は最高潮に。そのような中、本堂では恩山面の役員さんに続いて、使節団5名が拝礼しました。

恩山面事務所と 恩山中学校を表敬訪問

4月7日、恩山面事務所を表敬訪問しました。面長を始め、別神祭保存会長など地元の代表の方々と名刺交換や自己紹介、記念品の交換を行いました。

また9日には、恩山中学校を訪問し、中学生交流の受入れをお願いしてきました。来年の夏に3泊4日の日程で恩山面へ日野町内の中学生が訪韓し、恩山中学生と国境を越えた相互交流を行なうこととなります。



恩山面事務所での記念撮影

扶余郡庁表敬訪問

4月9日、扶余郡庁を表敬訪問し、町長からの親書を植田団長が代読し、扶余郡長へ手渡した後、記念品の交換を行いました。

以前、長年恩山面との橋渡しをしていただいた通訳の伊江植氏も同席され、当時の思い出話に花が咲きました。



親書を代読する植田団長

【交流のきっかけ】

日野町大字小野には、約1300年前に渡来し日本文化に貢献した鬼室集斯を祀る鬼室神社があり、恩山面には、集斯の父である百済王朝時代の福信將軍を祀る恩山別神堂があることから、父子の縁で日野町と恩山面は1990（平成2）年5月に姉妹都市提携を結びました。

団員の紹介

- | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| 随員 | 吉澤 | 長井 | 森岡 | 植田 | 植田 |
| | 幸司 | 礼子 | 福夫 | 榮藏 | 慶一 |

